

四季報

設計協会県北支部青年部活動 NEWS

～ 秋号 ～ 2005年11月発行

発行／(社)福島県建築設計協会県北支部青年部 情報委員会
所在地／〒960-8043 福島市中町4-20 みんなビル
電話 (024) 521-4033 FAX (024) 521-5087



特集 1

『愛・地球博』視察見学会

去る平成17年9月9・10日、設計協会県北支部企画委員会主催「愛・地球博」視察見学会が行われ、当青年部からも7名が参加しました。9月末で閉幕という残り僅かな時期だったため、本当に大勢の人が会場を訪れていました。

9日早朝に福島を立ち、ちょうどお昼にいよいよ博覧会会場に到着。天気も暑いくらいの晴天に恵まれ、会場は既に人が溢れ活気づいていました。

まずはゲートで手荷物検査を受け、メインゲートである北ゲートよりいよいよ会場内に。



入場者数記録第2位の9月10日(視察見学会2日目)にはこの場所も人で一杯に…。

「愛・地球博」の大きな特徴は、メインテーマの「自然の叡智」そのものだということ。当初万博の予定地だった海上の森で、絶滅危惧種の「オオタカ」の巣が見つかった事を契機に、これまでのような開発型の博覧会を止め、自然の地形をそのまま生かした会場作りに変えていきました。そうして、極力地形に手を加えず高低差の回避やバリアフリーに配慮した結果、空中回廊「グローバルループ」が作られました。この回廊により会場全体を見渡しながら

移動ができるので、目的地までスムーズに移動できる合理性と、更に会場内の導線が3次元に交差している事で、回廊自体がパビリオンの役割を担っており、とても興味深い物になっていました。自然を生かした結果、本来各パビリオンを繋ぐ役割でしかなかった通路が、地球博の最大の特徴となったのではないかと思います。



設計協会一行は、限られた時間の中でグローバルループを移動し、各国のパビリオンを見学して周りまわりました。炎天下の中の移動で時折涼しさを与えてくれたのが、新開発のドライミスト噴霧機でした。ミストの噴霧量はクスノキと同量で、ヒートアイランド現象の緩和・省エネルギー・

夏の不快感解消に留意し開発されたとのこと。周辺気温が2～3℃下がるため、森林浴のような涼しさを感じることができました。機械により自然のありがたみを思い知らされ、まさしく「愛・地球博」のテーマ通り「自然の叡智」に触れた思いでした。

最後に全員でワンダースカス電力館を体験。「地球と人と夢」をテーマにした素晴らしいエンターテインメントでした。パビリオン前庭では電気事業設備から出る廃棄物を使用しているなど、会場全体を通していても驚くほど多くの環境に配慮したシステムや材料等が使用されていました。この環境についての取り組みが、今回の万博を期に更に加速するのでは、と期待しています。



今回大変貴重な体験をすることができ、見学会を企画・運営して頂いた企画委員会、並びにこの企画に賛同して頂いた方々に深い感謝の意を表します。今回の会に参加出来た事を大変嬉しく思っております。本当にありがとうございました。

文：斎藤 良治〔榎大野建築設計事務所〕

— 青年部 これからの催し —

12月 (社)福島県建築設計協会 50周年記念事業 「住まいとまちの安全」フォーラム 開催

私たち建築設計協会県北支部青年部では、今年度からの活動として、全国的に多発している地震災害に対する市民の意識向上を図り、安全な住まいづくりと安全な地域づくりを進めて行きたいと考えています。

そこで、安全・安心なまちづくりの推進に寄与すること、また地震災害の現状を学び地震に強い住まいづくり・地域づくりをはじめ、避難・救助・復旧・災害ボランティア等についても考える機会として、「住まいとまちの安全」フォーラムを開催致します。

「災害は忘れた頃にやってくる」とは、よく言ったものです。火山の噴火以外に大きな災害に遭ったことのない福島ですが、昨年の中越地震はまさにすぐ傍で起きた天災です。福島で大地震が起こらないとは限りません。

旧山古志村村長の長島氏に、地震から1年経った今でしか聞けない貴重なお話を頂戴し、地震に強いまちづくり・人づくりを進められるよう、皆さん一緒に勉強していきましょう。

日時：平成17年12月10日(土)
10:30～16:00(開場10:00)
場所：コラッセふくしま(3F:企画展示室)
共催：福島市

<第1部 親子ワークショップ>
10:30～12:00(90分)
テーマ：「力のデザイン」
～座ってこわれないイスをつくってみよう!～
講師：大工立人氏 響田倉満氏
(社団法人霊山こどもの村管理会 遊びと学びのミュージアム)

<第2部 シンポジウム>
13:30～16:00
■Part1 基調講演
演題：「住まいとまちの安全」
～新潟中越地震災害の実情を語る～
講師：長島忠美氏(衆議院議員・旧山古志村村長)
■Part2 パネルディスカッション
テーマ：「地震とまちの安全を考える」
～地震災害への備えは大丈夫?～
パネリスト：長島忠美氏
行政代表
消防関係者
専門家
コーディネーター：鈴木宏幸
(福島県建築設計協会県北支部青年部 部会長)
文：菅野 真〔榎太田建築設計事務所〕

特集2 平成17年度建築設計協会県北支部青年部研修会(新潟県)

8月27日(土)青年部研修会とし、新潟県の施設を幾つか見学してきました。青年部における研修会(施設見学会)も3回目を迎え、今回は昨年の新潟中越地震により延期となっていた、新潟方面への見学となりました。目的地は有名建築家によるアトリエ系事務所の作品を中心に4カ所を選定し、駆け足ながら無事終えることができました。新潟は近県ではありますが、なかなか訪れる機会に恵まれなかった方も多く、有意義な1日を過ごすことができました。



潟博物館(水の駅福島潟)

潟博物館(設計:青木淳ほか)

数年前の日本建築学会賞を受賞しただけに、個性的な外観と展示機能を中心としたスロープ状の内部空間が特徴的な建物でした。鉄とガラスを中心とした構造で透過性が高く、また非常に軽量感を感じさせる建築ですが、周囲の景観に溶け込み、建設当時ほどの違和感は覚えませんでした。5年後、10年後果たしてどのように変貌しているか楽しみな建築でした。

豊栄市立図書館(現在新潟市)(設計:安藤忠雄ほか)

今回の研修会の目玉の1つであり、東北では数少ない「安藤建築」です。小規模のこじんまりとした建築ですが、濃厚な設計者の意欲に私たちはすっかり圧倒されてしまいました。見学していても今にも扉の陰から安藤氏が飛び出してくるのではないかと思えるぐらいのこだわりと美学が感じられる建物でした。特に施設を管理している方々の建物に対する愛着は深く、少々の不具合や不便さなどは許容範囲であるという姿勢に感動すら覚えました。



豊栄市立図書館

朱鷺メッセ(設計:槇文彦ほか)



朱鷺メッセ

今回の研修会の陰の目玉であり、3年前に建物と近接施設を結ぶ連絡橋の崩落事故を起こしてしまった建物です。事故現場はすでに跡形もなく、その余韻すら感じられなくなりましたが、建物自体はすばらしく、100mに及ぶコンコースなどに代表される大空間の設計者による空間把握能力はすばらしく、私たちの及ぶべくもありませんでした。ただ、果たして地方都市にこのような巨大な公共施設が必要なのかという疑問は常にあり、この施設に人が溢れている情景を想像しながらの見学でした。

新潟市芸術文化ホール(設計:長谷川逸子ほか)

楕円形のガラスで覆われた外観と、周辺施設を空中歩廊で結んだ構成など特徴的な施設でした。内部は大小様々なホールや舞台など外観からは想像できない数多くの機能を持ち、特に最上階は一面緑で覆われ環境に配慮した建物でした。



新潟市芸術文化ホール



新潟市芸術文化ホールにて

以上が、見学した施設の主な特徴です。建物を見学すると常を感じるのですが、見学した時点においては、竣工後数年経っているわけですが、設計及び施工中にその施設に携わった人たちは膨大な数であり、その人たちの苦労や思いをできるだけ感じとる努力を私達はすべきではないかと思えます。特に設計者は様々な試行錯誤、スケッチ、打合わせを繰り返し、その結果目の前の建物になったそのプロセスを感じながら、今後も建物を見学していこうと思います。 文:田畑 建一〔㈱田畑建築設計事務所〕

—青年部これまでの催し—

5月13日 平成17年度 第4回青年部通常総会 開催

5月13日(金)ウエディング・エルティにて、今年度の通常総会が開催されました。来賓の方々の見守る中、前年度の事業報告や今年度の事業計画が議題に挙がり、無事承認を頂くことができました。



6月23日 平成17年度 県北支部青年部6月例会 開催

6月23日(木)6月例会企画とし、建築設計協会会議室にて(株)アポロガス ほっとリビング様より「トーヨーキッチン・太陽光発電について」、東陶機器株式会社 東北支店 市場開発課様より「パブリックバリアフリーセミナー」を開催して頂きました。



6月26日 ふくしま協働のまちづくり事業(コラボふくしま)の公開審査結果 発表

(社)福島県建築設計協会50周年記念事業として、当青年部では12月にフォーラムを開催する計画をしていますが、これを福島市と協働で行っていき、その事業に対し市の方から補助金を出して頂けるという「ふくしま協働のまちづくり事業」に応募していました。

その公開審査が平成17年6月26日(日)午前10時から保健福祉センターで行われ、青年部からは鈴木宏幸部会長、鈴木勇人副部会長、菅野真幹事、蛭川礼二監事が参加しました。審査団体が22団体、プレゼンテーション・質疑応答の時間が合わせて僅か9分という厳しい状況で事業の説明が行われ、半分以上の団体が落選する中、見事補助を受けることができるようになりました。

現在は、そのフォーラム開催に向けて様々な準備活動を行っているところです。旧山古志村村長の長島忠美氏(現衆議院議員)を講師としてお迎えするなど、地震の多発している今、大変興味深い内容になる予定ですのでどうぞご期待ください。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

8月27日/平成17年度 県北支部青年部研修会(新潟県) 開催

8月27日(土)青年部研修会とし、新潟県の施設をいくつか見学してきました。詳しくは「特集2」の記事をご覧ください。

9月9・10日/設計協会県北支部企画委員会主催「愛・地球博」視察見学会 開催

9月9日(金)・10日(土)設計協会県北支部企画委員会主催「愛・地球博」視察見学会に参加しました。詳しくは「特集1」の記事をご覧ください。

—メールマガジン配信中—

現在、青年部員を対象に月2回メールマガジンを配信中。講習会や法改正・新製品の紹介等、旬の情報を中心とした内容になっています。情報掲載希望の方は、設計協会青年部までお気軽にご連絡ください。

—青年部ホームページ鋭意作成中—

当県北支部青年部の専用ホームページを現在作成中。今期中の公開を目指し、手づくりで作業を進めているところです。公開しましたら改めてご案内いたします。

文:斎藤 良治〔㈱大野建築設計事務所〕・小野 紀章〔おの建築設計事務所〕